

## JPSTSS 会員の皆様へ



第 28 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会  
会長 齋藤貴徳 副会長 高見俊宏

会員の皆様におかれましてはコロナ禍で大変な思いをしておられることと存じます。本年度の JPSTSS は 2021 年 9 月 3 日 4 日の両日、国立京都国際会館で開催いたします。伝統ある本学術集会を関西医科大学が主催させて頂けることを光栄に存じております。昨年の第 27 回大会は昨年 2 月から始まったコロナ禍のため、最終的に完全 web 開催となりました。先が見えない状態下の中、会長の久保田先生の巧みな web 構成システム構築により、実りある素晴らしい大会になったと思います。特にいつでも希望する講演を視聴できる on demand 配信は web 開催のメリットを最も感じられるシステム構成であったと感じています。

コロナ禍ではありますが、本来の学会の醍醐味は各研究者の発表からの知識習得のみではなく、会場や休憩室で全国の脊椎外科医の同志たちからの何気ない雑談や体験談から得られる刺激も重要な要素であると考えております。このため、このような時代であることを踏まえても、現地で各研究者が顔を合わせることの重要性を鑑み現地開催を主体とするハイブリッド開催に加え、終了後の on demand 配信を行うシステムを考慮中です。現在、東京・大阪を中心に一部で非常事態宣言が発出されている現状はありますが、医療関係者のワクチン接種が進んでおり、さらに高齢者の摂取も 9 月をメドに開始されていることから、多くの先生方が集まれる久しぶりの学術集会になるのではないかと考えております。

現在、プログラムをほぼ確定し、一般演題を募集中です。5 月 10 日の締め切りが近づいておりますので、会員の皆様方のご応募を心よりお待ちしております。今年は“Fusion for Future”のテーマを掲げ、整形外科医と脳外科医が、お互いの得意分野を脊椎の世界で発揮するのみでなく、お互いの知識や技術の融合を本学会で図り、更なる高みへと未来を切り開いてゆくきっかけとなる学会にしたいと考えております。このため、ビデオを多用したセッションを多く設定し、最近のトピックを取り上げ、整形外科・脳外科が同じテーブルに着くシンポジウムもテーマを工夫しながら各種設定しております。一般演題からもどんどん採用してゆきたいと思っておりますのでふるってご応募くださいます様、お願い申し上げます。

す。本学会は脊椎の手術手技に特化した学会であります。手術を安全・安心に実施し成功に導くには、手術室看護師や臨床検査技師、医療工学士、理学療法士、作業療法士などの周術期に関係した co-medical との連携が重要な要素となってきます。このため本学会では術中モニタリングやリハビリテーションをはじめとする co-medical のセッションも設定し、会員の皆様方のチーム医療のさらなる発展に少しでも寄与出来ればと考えております。ぜひ先生方の施設の co-medical の皆様方にお声がけ頂き、演題をご応募頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

9月初旬は暑さも和らぎすがすがしい季節です。観光が出来るかどうかはさておき、美しい京都の地で本学会が開催されるのは久しぶりとなります。今後多くの演題をご応募頂き多くの会員の皆様方と日本の伝統を引き継ぐ京都の地で2年ぶりにお会いできますことを心より祈念しております。医療関係者のワクチン接種が終了し、第28回大会が久しぶりに参加者全員が集合できる記念すべき学会となりますよう、感染対策を含め全力で準備を進めてまいります。会員の皆様におかれましては第28回 JPSTSS 学会学術集会にぜひご参加頂けますよう主催者の一人として心よりお願い申し上げます。

開催日時：2021年9月3日（金）4日（土）

開催場所：京都国際会館

演題応募締め切り：5月10日（ホームページ上で募集しております）

演題応募ページ URL：<http://www.jpstss.jp/meeting/entry.html>